



函中モ2第 1781 号

平成31年2月13日

文部科学省総合教育政策局
教育改革・国際課長 殿

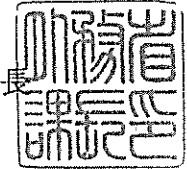
外務省アジア大洋州局

中国・モンゴル第一課長



外務省アジア大洋州局

中国・モンゴル第二課長



平成31年度中国高校生招へい事業（日中植林・植樹国際連帯事業等）に関する協力依頼について

当省が平成28年度から実施している日中植林・植樹国際連帯事業等招へい事業に際しては、貴省及び各都道府県教育委員会等の多大なる御協力を賜り、感謝申し上げます。

平成31年度の中国高校生招へいについては、日中植林・植樹国際連帯事業として700名、別事業で追加計画中の中国高校生招へい事業（予定）として175名、計875名で実施していく予定であり、今般、4月以降の招へい事業の日程案を作成しました（別紙1～6）。両事業においては、高校での青少年交流行事等を考えておりますところ、貴省におかれましては各都道府県教育委員会等に対し、本事業の概要を周知していただくとともに受入れに関する調書への回答に御協力を呼びかけていただけるようお願い申し上げます。

なお、調書につきましては、受入れが困難な場合であっても、3月20日（水）までに主管団体である公益財団法人日中友好会館まで回答いただきますよう、各都道府県、教育委員会等に対して御案内をお願い申し上げます。

付属添付

別紙 1 : 「日中植林・植樹国際連帯事業」 (2019 年度中国高校生招へい事業) 事業概要・依頼内容

別紙 2 : 追加計画分 中国高校生招へい事業 (予定) 事業概要 (案) ・依頼内容

別紙 3 : 2019 年度中国高校生招へい事業 調書ご提出方法と調整結果の連絡について

別紙 4 - 1, 4 - 2 : 【提出用】2019 年度中国高校生招へい事業 日程 調書

別紙 5 : 「日中植林・植樹国際連帯事業」2019 年度中国高校生招へい事業 (9 月, 11 月, 12 月) 日程案

別紙 6 : 追加計画分 中国高校生招へい事業 (6 月, 12 月) 日程案

「日中植林・植樹国際連帯事業」(2019 年度中国高校生招へい事業)
事業概要・依頼内容

外務省が推進する日中植林・植樹国際連帯事業の一環として、2019 年度は、中国から高校生計 700 名を招へいし、日本各地で学校交流(高等学校訪問)を実施いたします。(平成 27 年度補正予算事業)
下記の通り、中国高校生の学校交流につき、お受け入れ頂ける高等学校を募集します。

記

1. 趣旨:

中国の高校生を訪日招へいし、植樹活動、環境及び防災に関するセミナー、関連施設の視察等を行い、中国高校生の環境及び防災意識の啓発を図るほか、高校訪問や各地視察等を通じ、日中両国青少年の友好促進、対日理解の一層の促進を図る。

2. 主管団体: 公益財団法人日中友好会館

招へい・実施は主管団体又は主管団体が委託する実施団体が行います。

3. 被招へい者: 中国教育部より派遣された各地域の中国高校生

4. 来日時期・招へい人数:

①2019 年度中国高校生訪日団第 1 陣 250 名

9 月 3 日(火)～9 月 11 日(水)

うち学校交流受け入れ日程 9 月 6 日(金)もしくは 9 月 9 日(月)のいずれか一日

②2019 年度中国高校生訪日団第 2 陣 250 名

11 月 5 日(火)～11 月 13 日(水)

うち学校交流受け入れ日程 11 月 8 日(金)もしくは 11 月 11 日(月)のいずれか一日

③2019 年度中国高校生訪日団第 3 陣 200 名

12 月 3 日(火)～12 月 11 日(水)

うち学校交流受け入れ日程 12 月 6 日(金)もしくは 12 月 9 日(月)のいずれか一日

5. 依頼内容:

中国高校生の学校交流(高等学校訪問)の受け入れ。

(1) 訪問時間: 終日交流(10:30～17:00 想定)を希望しますが、午後のみの半日交流でも可。

※具体的な訪問時間は受入決定後に実施団体と相談して決定。

※お受け入れ希望日については、文化祭や運動会等の学校行事が行われる予定の日にちを避けてご検討ください。

(2) 受け入れ人数: 1 校あたり 30 名(バス 1 台)

※30 名受け入れが難しい場合、1 校当たり 15 名の受け入れでも可。

但し、30 名受け入れ可の学校が優先されます。

(3) 内 容: ①日本高校生との交流会、授業参加、部活動参加

②環境・防災に関するプログラム

③記念植樹

※①・②は必須。さらに③が実施可の学校が優先されます。

(4) プログラム構成について

日本高校生との交流会、授業参加、部活動参加を主要プログラムとしますが、中国高校生（または日中の高校生）の環境または防災意識を高めることを目的とし、全体プログラムの一部に、環境または防災に関するプログラムを盛り込むようお願いいたします。

また、中国高校生の日本滞在中、2回ある学校交流のうち1回の学校交流にて、本事業の訪日団訪問を記念し、校内での記念植樹実施をお願いしています。記念植樹の実施の可否をお知らせください。記念植樹実施不可でも応募は可能ですが、受け入れ校決定にあたっては、植樹可の学校が優先されます。

プログラム詳細は実施の段階で、実施団体と相談の上、調整して頂きます。

①日本高校生との交流、授業参加等

訪問校のカリキュラムの中で、日本高校生との交流会、授業参加、部活動参加をご検討願います。

②環境・防災に関するプログラム

訪問校にて、環境または防災に関するプログラムをご検討願います（環境または防災のいずれか1つで可）。以下は参考例ですので、この限りではありません。但し、学校内での実施を原則とします。

<環境に関するプログラム例>

- ・学校行事や授業等で取り組んでいる環境学習や環境保全活動の紹介
 - 例：学校内での自然観察や環境保全活動
 - 大気や水質の調査
 - ビオトープ作りや生物の調査
 - リサイクル活動、ゴミ分別運動、校内美化活動
- ・体験型環境学習への参加
- ・環境保護に対応した校内施設（緑化、太陽光システム等）の見学
- ・環境をテーマとした日中高校生によるディスカッション、発表
- ・英語の授業で環境をテーマとしたクイズを行いグループディスカッションする等

<防災に関するプログラム例>

- ・防災設備、防災備蓄品の紹介を含めた校内見学
- ・避難訓練や防災に関する取り組みの紹介
- ・炊飯袋等を活用した災害食体験
- ・防災をテーマとした日中高校生によるディスカッション、発表等

③記念植樹

訪日団の学校訪問を記念し、校内で記念植樹（1本～数本）を実施。

- 例：・歓迎セレモニー終了後、日中高校生代表が校内に記念植樹。植樹後、記念撮影。
・交流会の一環として、日中高校生が校内に記念植樹。

※実際の受け入れ人数は引率を含め若干名増加する予定です。

※訪日団には、実施団体事務局（通訳含む）が同行します。

※訪問する中国高校生は英語が堪能な生徒を選抜しています。

※訪問する中国高校生は男子生徒と女子生徒どちらも含まれます。

※中高一貫校でのお受け入れでは、交流相手が高校生となるようご調整願います。

※移動、宿泊及び終日交流の場合の訪日団の昼食の手配は、実施団体が行います。

6. 経費:

本交流に関わる経費(記念植樹に関する費用を含む)は、実施団体が負担いたします(但し、支払い制限有り。記念植樹活動の経費は概ね10万円までを想定)。詳細につきましては、実施の段階でご案内致します。

7. 連絡先:

公益財団法人日中友好会館 総合交流部 行平 紀子、園田 亜寿沙

〒112-0004 東京都文京区後楽1-5-3 TEL: 03-5800-3749 FAX: 03-5800-5472

E-MAIL: yukihiro@jcfc.or.jp (行平)、sonoda@jcfc.or.jp (園田)

※別紙(1~6)のデータが必要な場合は、上記7の連絡先担当者までご連絡ください。

以上

追加計画分 中国高校生招へい事業 (予定)
事業概要 (案)・依頼内容

外務省では、日中植林・植樹国際連帯事業 (別紙1 参照) とは別に、中国から高校生計 175 名を招へいし、学校交流 (高等学校訪問) すること計画しており、実施に向けて平成 31 年度予算に費用を計上しています。実施の決定は、予算成立後となりますが、下記の通り、中国高校生の学校交流につき、お受け入れ頂ける高等学校を募集します。

記

1. 主管・実施団体：公益財団法人日中友好会館

2. 被招へい者：中国側派遣機関より派遣された各地域の中国高校生

3. 来日時期・招へい人数：

①中国高校生訪日団 (仮称) 100 名

6月11日 (火) ～6月19日 (水)

うち学校交流受け入れ日程 6月14日 (金) もしくは6月17日 (月) のいずれか1日

②香港・澳門高校生訪日団 75 名 (香港 50 名、澳門 25 名)

12月10日 (火) ～12月18日 (水)

うち学校交流受け入れ日程 12月13日 (金) もしくは12月16日 (月) のいずれか1日

4. 依頼内容：

中国高校生の学校交流 (高等学校訪問) の受け入れ。

(1) 訪問時間：終日交流 (10:30～17:00 想定) を希望しますが、午後のみの半日交流でも可。

※具体的な訪問時間は受入決定後に (公財) 日中友好会館と相談して決定。

※お受け入れ希望日については、文化祭や運動会等の学校行事が行われる予定の日にちを避けてご検討ください。

(2) 受け入れ人数：1校あたり 30 名 (バス 1 台)

※30 名受け入れが難しい場合、1校当たり 15 名の受け入れでも可。但し、30 名受け入れ可の学校が優先されます。

(3) 内 容：日本高校生との交流会、授業参加、部活動参加

※実際の受け入れ人数は引率を含め若干名増加する予定です。

※訪日団には、(公財) 日中友好会館事務局 (通訳含む) が同行します。

※訪問する中国高校生は英語が堪能な生徒を選抜しています。

※訪問する中国高校生は男子生徒と女子生徒どちらも含まれます。

※中高一貫校でのお受け入れでは、交流相手が高校生となるようご調整願います。

※移動、宿泊及び、終日交流の場合の訪日団の昼食手配については、(公財) 日中友好会館が行います。

6. 経費:

本交流に関わる経費は、(公財) 日中友好会館が負担いたします(但し、支払い制限有り)。詳細につきましては、実施の段階でご案内致します。

7. 連絡先

公益財団法人日中友好会館 総合交流部 行平 紀子、園田 亜寿沙

〒112-0004 東京都文京区後楽 1-5-3 TEL: 03-5800-3749 FAX: 03-5800-5472

E-MAIL: yukihiro@jcfc.or.jp (行平) sonoda@jcfc.or.jp (園田)

※別紙(1～6)のデータが必要な場合は、上記7の連絡先担当者までご連絡ください。

以上

2019 年度中国高校生招へい事業
調書ご提出方法と調整結果の連絡について

別紙1及び2に記載の事業概要の通り、中国高校生の学校交流（高等学校訪問）につき、お受入れ頂ける高等学校を募集いたします。誠に恐れ入りますが、下記1. 調書提出方法記載の各とりまとめ窓口にて、学校交流受け入れ可能な人数と時期等をお取りまとめ頂き、調書（別紙4-1、4-2）にご記入の上、3月20日（水）までに、主管団体である（公財）日中友好会館までご回答頂きたい、お願い申し上げます（詳細下記参照）。

なお、受け入れを全日程希望しない場合でも、その旨、ご回答頂きたい、お願い申し上げます。

記

1. 調書提出方法

各とりまとめ窓口（文部科学省からの協力依頼送付先/以下参照）より、主管団体（（公財）日中友好会館）に提出。

- ・各都道府県・政令指定都市教育委員会（公立高校とりまとめ）
- ・各都道府県知事部局私立学校主管課（私立高校とりまとめ）
- ・附属高等・中等教育学校を置く各国立大学法人（国立大学法人附属高等学校とりまとめ）
- ・附属高等・中等教育学校を置く各公立大学法人（公立大学法人附属高等学校とりまとめ）
- ・高等学校を設置する各学校設置会社（株式会社立高等学校とりまとめ）

※但し、各都道府県・政令指定都市国際交流主管部局（国際課）が窓口となり、教育委員会や私立学校主管課を通じて調査した調査結果をとりまとめる場合は、各国際課よりご回答願います。

【提出物】：調書（別紙4-1、4-2）

【提出期限】：3月20日（水）

【提出先】：公益財団法人日中友好会館 担当：総合交流部 行平

【提出方法】FAX またはメールで提出

FAX：03-5800-5472

E-MAIL：yukihira@jcfc.or.jp（行平）

2. 調整結果の連絡（受け入れ校の決定）

①日中植林・植樹国際連帯事業（別紙1）の調整結果について

4月中旬、（公財）日中友好会館より、各とりまとめ窓口（各都道府県・政令指定都市教育委員会等）に直接、ご連絡させていただきます。各とりまとめ窓口より、各校に調整結果をご連絡願います。

②追加計画分（別紙2）の事業の調整結果について

平成31年度予算成立後、4月中旬を目途に、（公財）日中友好会館より、各とりまとめ窓口（各都道府県・政令指定都市教育委員会等）に直接、ご連絡させていただきます。各とりまとめ窓口より、各校に調整結果をご連絡願います。

※②の調整結果は、①の調整結果に合わせてご連絡させていただく場合もあります。

※受け入れ校決定の際に、事業実施までのスケジュールをお知らせいたします。

以上

2019年度中国高校生招へい事業 日程 調書

【日中植林・植樹国際連帯事業】

代表団名	招へい 人数	全体日程						学校交流受入日程				受け入れ 希望	受け入れ 可能人数	
		月	日	曜		月	日	曜		月	日	曜		
2019年度中国高校生訪日団第1陣	250名	9	3	火	～	9	11	水		①	9	6	金	
										②	9	9	月	
2019年度中国高校生訪日団第2陣	250名	11	5	火	～	11	13	水		①	11	8	金	
										②	11	11	月	
2019年度中国高校生訪日団第3陣	200名	12	3	火	～	12	11	水		①	12	6	金	
										②	12	9	月	

*1) 参照

*1) 参照

*1) 参照

*1) 学校交流①(9/6(金)、11/8(金)、12/6(金))は、予定招へい人数を上回る希望があった場合、茨城県・千葉県・埼玉県・東京都・神奈川県以外の地域が優先される可能性があります。日程案は別紙5参照。

* 学校交流①②のうち、どちらかの学校で1回、記念植樹を行います。

【追加計画分 中国高校生招へい事業(予定)】

代表団名	招へい 人数	全体日程						学校交流受入日程				受け入れ 希望	受け入れ 可能人数	
		月	日	曜		月	日	曜		月	日	曜		
中国高校生訪日団 (仮称)	100名	6	11	火	～	6	19	水		①	6	14	金	
										②	6	17	月	
香港・澳門高校生 訪日団	75名	12	10	火	～	12	18	水		①	12	13	金	
										②	12	16	月	

*2) 参照

*2) 参照

*2) 学校交流①(6/4(金)、12/13(金))は、予定招へい人数を上回る希望があった場合、茨城県・千葉県・埼玉県・東京都・神奈川県以外の地域が優先される可能性があります。日程案は別紙6参照。

受け入れを希望しない	
------------	--

<記入例>					
①	9	6	金	○	30名
②	9	9	月		

・8泊9日間の日本滞在中に2回の学校交流を予定しています。受け入れを依頼するのはうち1回です。

・各日程複数校希望がある場合、合計人数をご記入ください。詳細は別紙4-2にご記入ください。

・1校で複数の受け入れ希望日がある場合は、その全てをご記入ください。詳細は別紙4-2にご記入ください。

・受け入れ希望日は、原則として、文化祭、運動会等の学校行事が行われる日を避けてご検討ください。

・調書回答後に、希望を取り下げたい受け入れ日が発生した場合は、お早めに(公財)日中友好会館までお知らせください。

2019年度中国高校生招へい事業 日程 調書

<学校交流受け入れにかかる詳細>(必須)

受け入れ校数、学校名、各校受け入れ人数・希望日(午後のみの半日交流を希望する場合は、午後のみと明記)などを、ご記入ください。(書ききれない場合は別紙添付可) ※1校当たり30名の受け入れが基本(但し、1校当たり15名でも可)。

<記念植樹の可否、環境・防災に関するプログラムの実施内容>

- ・日中植林・植樹国際連帯事業の一環として実施する中国高校生訪日団受け入れの場合は、必ずご回答ください。
- ・受け入れ校での記念植樹の可否、環境・防災に関するプログラムの実施内容をお知らせください。環境・防災に関するプログラムの実施内容は想定する内容をご記入ください(書ききれない場合は別紙添付可)。想定内容の記入が難しい場合は、環境または防災のどちらを想定するかをご記入ください。

学校名	記念植樹 の可否 (○又は×)	環境・防災に関するプログラムの実施内容

<ご担当者連絡先>(必須)

所属先名			
部署名		職名	
ふりがな 氏名		メールアドレス	
直通電話番号		FAX番号	

提出先・提出物・提出方法 : 別紙3参照

提出期限: 2019年3月20日(水)

「日中植林・植樹国際連帯事業」2019年度中国高校生招へい事業(9月、11月、12月) 日程案

	曜日	時間	プログラム	宿泊
1日目	火	午後	東京着 オリエンテーション	東京
2日目	水	午前	環境または防災に関するセミナー聴講	東京
		午後	環境に関する視察・プログラム	
		夜	歓迎会	
3日目	木	午前	訪問地域Aへ移動	訪問地域 A
		午後	対日理解に関する視察・参観(例:先端技術)	
4日目	金	午前	学校交流①(環境・防災に関するプログラム及び記念植樹を含む) 【一部地域以外優先 *1)参照】	訪問地域 A
		午後		
5日目	土	午前	防災に関する視察・プログラム	訪問地域 B
		午後	体験プログラム参加(ホームステイ、伝統文化等)	
6日目	日	午前	訪問地域Bへ移動	訪問地域 B
		午後	対日理解に関する視察・参観(例:文化遺産)	
7日目	月	午前	学校交流②(環境・防災に関するプログラムを含む)	訪問地域 B
		午後		
8日目	火	午前	東京へ移動/もしくは包括的な日本理解に関する視察	東京
		午後	都内視察	
		夜	歓送報告会(都内)	
9日目	水	午前	東京より帰国	

*1) 3日目に東京から地方へ移動を予定しています。そのため、学校交流①は、予定招へい人数を上回る希望があった場合、茨城県・千葉県・埼玉県・東京都・神奈川県以外の地域が優先される可能性があります。予めご了承ください。

*上記日程案は基本日程案です。具体的なプログラム内容は訪問地によって異なります。

*8泊9日間の日本滞在中に2回の学校交流を予定しています。受け入れを依頼するのはうち1回です。

*学校交流①②のうち、どちらかの学校で1回、記念植樹を行います。

*学校交流以外のプログラムの手配は、実施団体が行います。

追加計画分 中国高校生招へい事業(6月、12月) 日程案

	曜日	時間	プログラム	宿泊
1日目	火	午後	東京着 オリエンテーション	東京
2日目	水	午前	セミナー聴講	東京
		午後	対日理解に関する視察・参観(例:政治経済)	
		夜	歓送会	
3日目	木	午前	訪問地域Aへ移動	訪問地域 A
		午後	対日理解に関する視察・参観(例:先端技術)	
4日目	金	午前	学校交流①	訪問地域 A
		午後	【一部地域以外優先 *1参照】	
5日目	土	午前	地方参観、 体験プログラム参加(ホームステイ、伝統文化等)	訪問地域 A
		午後		
6日目	日	午前	訪問地域Bへ移動	訪問地域 B
		午後	対日理解に関する視察・参観(例:文化遺産)	
7日目	月	午前	学校交流②	訪問地域 B
		午後		
8日目	火	午前	東京へ移動	東京
		午後	都内視察	
		夜	歓送報告会(都内)	
9日目	水	午前	東京より帰国	

*1)3日目に東京から地方へ移動を予定しています。そのため、学校交流①は、予定招へい人数を上回る希望があった場合、茨城県・千葉県・埼玉県・東京都・神奈川県以外の地域が優先される可能性があります。予めご了承ください。

*上記日程案は基本日程案です。具体的なプログラム内容は訪問地によって異なります。

*8泊9日間の日本滞在中に2回の学校交流を予定しています。受け入れを依頼するのはうち1回です。

*学校交流以外のプログラムの手配は、(公財)日中友好会館が行います。